

第 68 回 田沼意次牧之原市マラソン大会
来場者アンケート調査
報告書

2025（令和 7）年 3 月

公益財団法人するが企画観光局



目次

1. 調査の概要.....	2
(1) イベントの概要.....	2
(2) 調査対象.....	2
(3) 調査事項.....	2
(4) 調査方法.....	2
(5) 配付物.....	3
2. 調査の結果.....	5
(1) 来場者の属性.....	5
① 居住地.....	5
② 性別.....	6
③ 年代.....	7
④ 同行者の人数（回答者本人を含む）.....	8
⑤ 主な同行者.....	9
(2) 田沼マラソンに関すること.....	10
① 田沼マラソンの参加回数.....	10
② 田沼マラソン参加のきっかけとなった情報源（複数回答可）.....	11
③ 田沼マラソンに再び参加したいと思うか.....	12
④ 田沼マラソンで特に良かったこと.....	13
⑤ 田沼マラソンで不便・残念だったこと.....	14
⑥ 田沼マラソンの親しい知人への推奨度.....	15
(3) 今回のお出かけ全体に関すること.....	17
① 行程.....	17
② 宿泊先（前問で“宿泊”と回答した方のみ）.....	18
③ 利用施設（複数回答可）.....	19
④ 会場内の1人あたり消費額.....	20
⑤ 会場に辿り着くために使用した主な交通手段（複数回答可）.....	21
(4) 大河ドラマ展・田沼意次候について.....	22
① 大河ドラマ展が開催していることを知っているか.....	22
② 大河ドラマ展の開催を何で知ったか.....	23
③ 田沼意次候の功績について知っていること（複数回答可）.....	24
3. 総括.....	25

1. 調査の概要

(1) イベントの概要

名 称	第 68 回 田沼意次牧之原市マラソン大会（以下、田沼マラソン）
内 容	牧之原市役所相良庁舎前の商店街道路をスタート・ゴールとし、江戸幕府の老中・田沼意次ゆかりの牧之原市相良地区を駆け抜けるマラソン大会。 ➤ 種目：2km の部、5km の部 ➤ 募集定員：500 人
日 時	2025（令和 7）年 2 月 2 日（日）午前 8 時 00 分受付開始
会 場	牧之原市役所相良庁舎前
参加者数	2km の部：350 人、5km の部：177 人、計 527 人
天 候	当日は雨が降る中の開催となったが、予定されていた 500 名を超える参加があり、沿道にも応援のため大勢の地域住民が駆け付けた。  tenki.jp「静岡(静岡県)の過去の天気」を加工して作成 (https://tenki.jp/past/2025/02/weather/5/25/47656/)

(2) 調査対象

田沼マラソンの来場者 【サンプルサイズ 79 人】

(3) 調査事項

- ・基本属性（性別、年代、居住地など）
- ・田沼マラソンに関すること（情報源、満足度、意見・感想など）
- ・今回のお出かけ全体に関すること（行程、他の利用施設、消費額など）
- ・大河ドラマ展に関すること（開催認知、情報源など） ほか

(4) 調査方法

マラソン参加受付時に、参加者にアンケートチラシ（回答フォームの二次元コードと景品を掲載）を配布した。回答者は自身のスマートフォンから二次元コードを読み取り WEB フォームから回答した。

(5) 配付物

① A5 チラシ (800 部)

第68回
田沼意次 牧之原市マラソン大会

WEBアンケートに ご協力ください

マラソン大会に対する満足度や今回のお出かけの内容についてお答えください。

牧之原の特産品を 抽選で30名様にプレゼント!

牧之原市 特産品2種セット



OTEMAEダックワーズ
(高柳製茶)



おちゃつぐだもんで
(相良物産)



回答はこちら▲

田沼意次牧之原市マラソン大会運営委員会
(調査事務局：公益財団法人するが企画観光局 054-204-6677)

大河ドラマ放送にあわせた特別企画展を開催します

2025. 1. 26 (日) 14:00 ~ 2026. 1. 12 (月・祝) 牧之原市史料館 (牧之原市相良275-2)

田沼意次の新時代展

田沼意次や相良藩に関する新発見の資料、田沼時代に活躍した文化人に関する資料の展示を行います。

大河ドラマ
「べらぼう〜萬重榮華乃夢断〜」展・静岡まさのほら

- 番組紹介パネル
- 出演者直筆サイン
- キャストビジュアルパネル
- ドラマ使用衣装及び小道具等



問合せ：牧之原市大河ドラマ活用推進室 (0548-53-2626)

② 受付の様子



2. 調査の結果

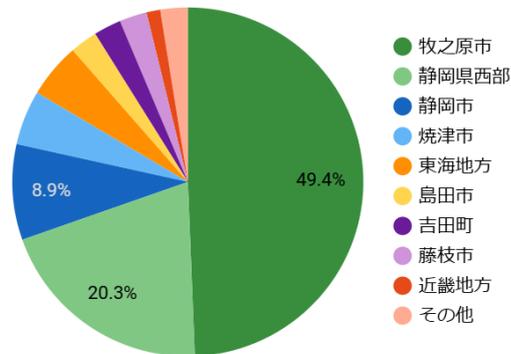
(1) 来場者の属性

① 居住地

- 「牧之原市」が49%と最も多く、次いで「静岡県西部」が20%、「静岡市」が9%であり、市内・市外の割合は同程度であった。
- 以降の分析でクロス集計を行う際には、「市内」又は「市外」でデータを区分することとする。

居住地別回答数及び回答割合

1.	牧之原市	39	49%
2.	静岡県西部	16	20%
3.	静岡市	7	9%
4.	焼津市	4	5%
5.	東海地方	4	5%
6.	島田市	2	3%
7.	吉田町	2	3%
8.	藤枝市	2	3%
9.	近畿地方	1	1%
10.	関東地方	1	1%
11.	その他	1	1%
	総計	79	100%



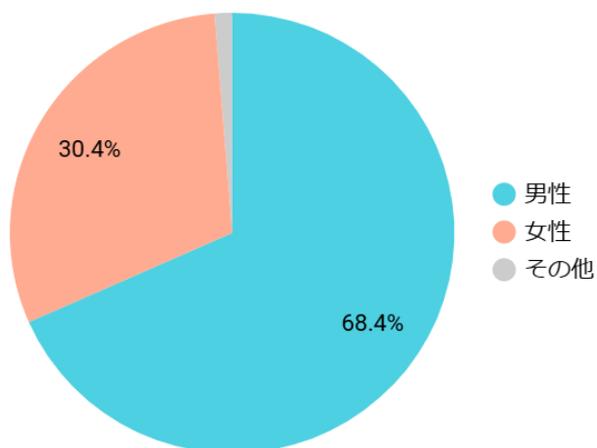
居住区分別回答数及び回答割合

1.	市内	39	49%
2.	市外	40	51%
	総計	79	100%

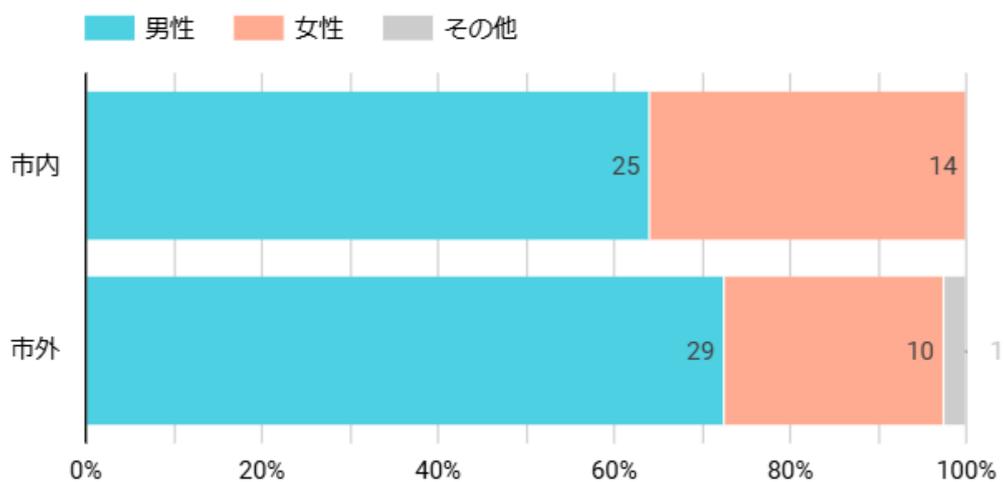
② 性別

- 「男性」が68%、「女性」が30%の構成となった。
- 居住区分別の比較においては、明確な差は見られなかった。

性別回答割合



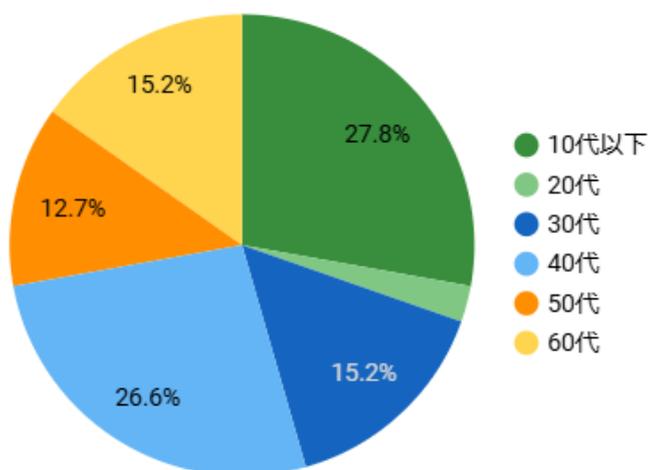
居住区分別・性別回答数及び回答割合



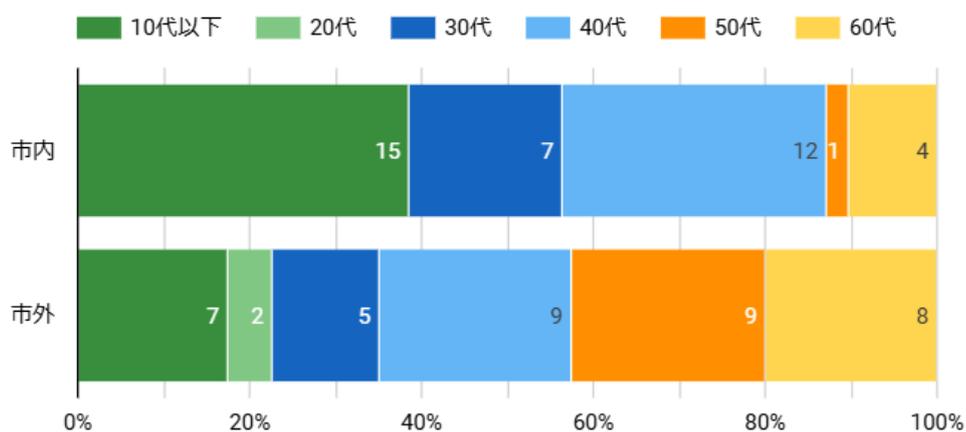
③ 年代

- 「10代以下」と「40代」が27%前後で主要年代となった。次いで「30代」と「60代」が約15%であった。
- 居住区分別では傾向に差が見られ、市内は「10代以下」、市外は「50代以上」が多かった。

年代別回答割合



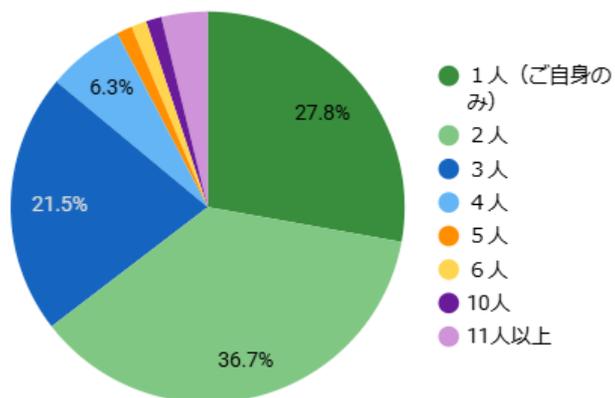
居住区分別・年代別回答数及び回答割合



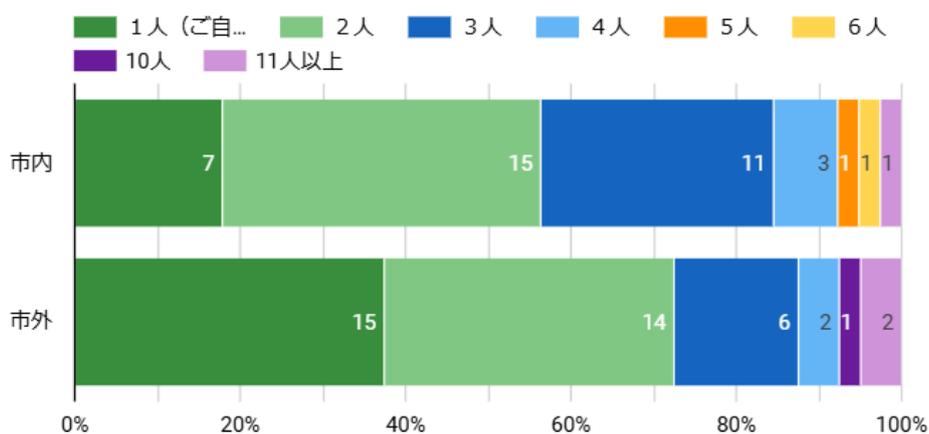
④ 同行者の人数（回答者本人を含む）

- 「2人」の割合が37%と最も高く、「1人」「2人」「3人」がそれぞれ20%を超え、全体の86%を占める構成となった。
- 市外からの来訪は、市内に比べ「1人」の参加がやや多かった。

同行者人数別回答割合



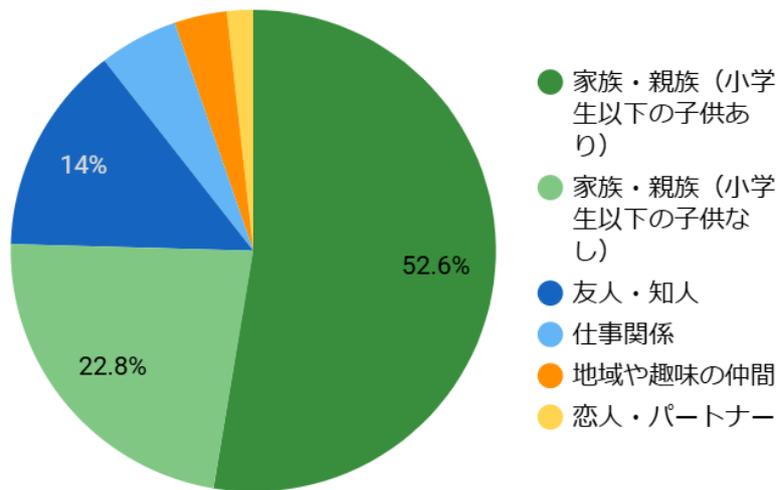
居住区別・同行者人数別回答数及び回答割合



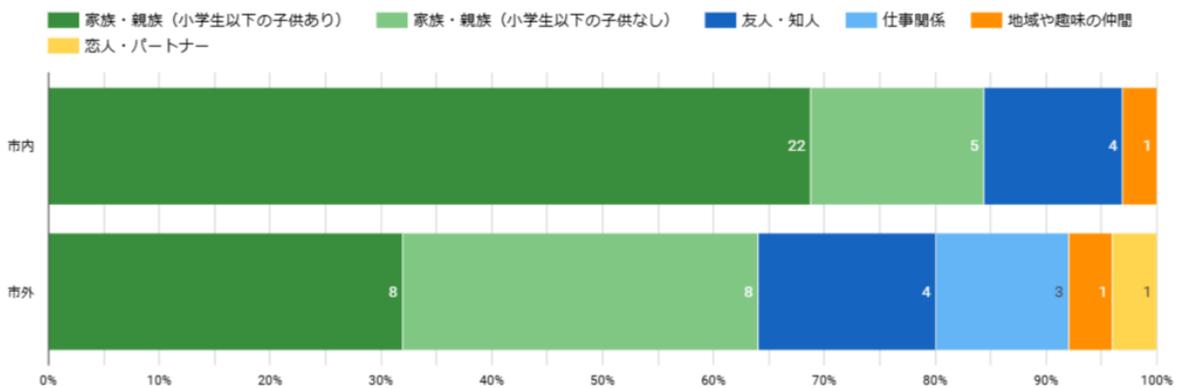
⑤ 主な同行者

- 「家族・親族（小学生以下の子供あり）」が、約 53%と最も多く、次いで「家族・親族（小学生以下の子供なし）」が 23%、「友人・知人」が約 14%であった。
- 居住区分別では、**市内**は「家族・親族（小学生以下の子供あり）」が多く、**市外**からは「仕事関係」のグループによる参加が見られた。

同行者種類別回答割合



居住区分別・同行者種類別回答数及び回答割合



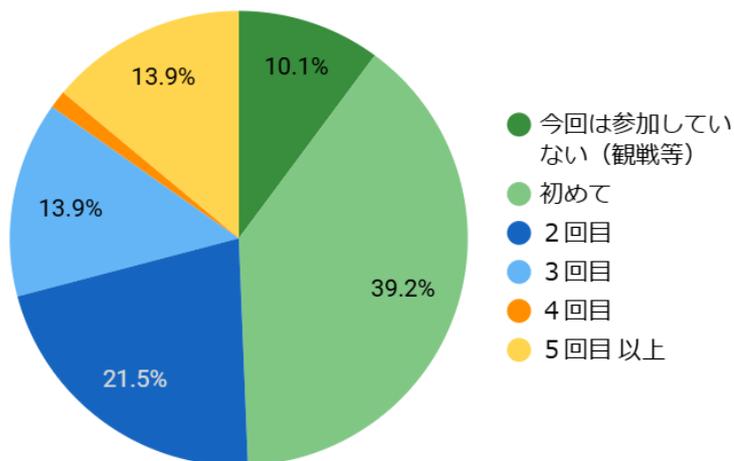
※「同行者あり」の方のみに質問 n=57

(2) 田沼マラソンに関すること

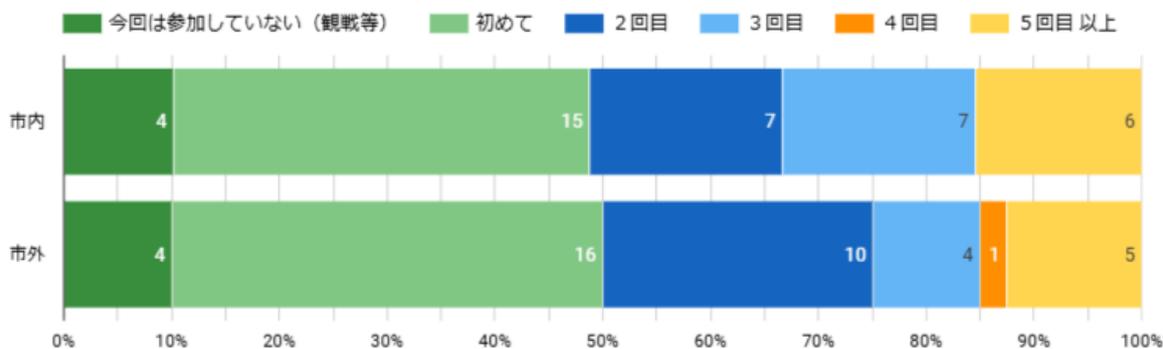
① 田沼マラソンの参加回数

- 半数はリピーターであったが、最も多かったのは「初めて」で約40%であった。
- 観戦等で今回はマラソンに参加していない回答者も10%程度存在した。
- 居住区分別の比較においては、明確な差は見られなかった。

参加回数別回答割合



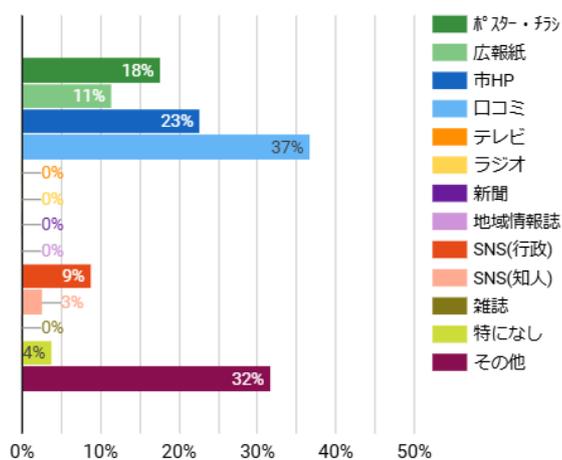
居住区分別・参加回数別回答数及び回答割合



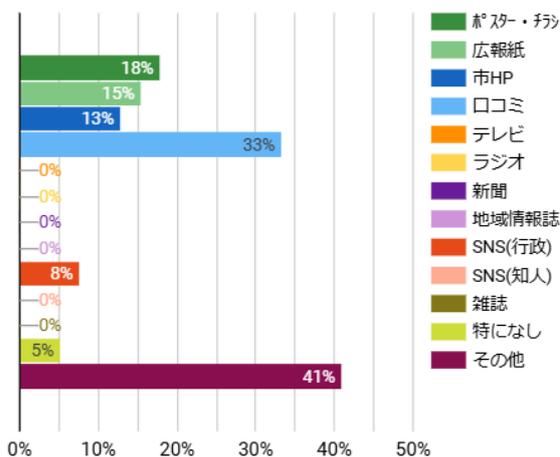
② 田沼マラソン参加のきっかけとなった情報源（複数回答可）

- 「家族や友人・知人の口コミ」が約37%で最も多かった。テレビ、新聞、雑誌等の民間メディアをきっかけに参加したという回答は見られなかった。
- **市外**においては、牧之原市ホームページが約33%と主要な情報源になっていた。
- 特に**市内**において「その他」の回答が多く見られるが、その内容はスポーツ少年団・クラブ活動に関するもの（10件）が主であった。

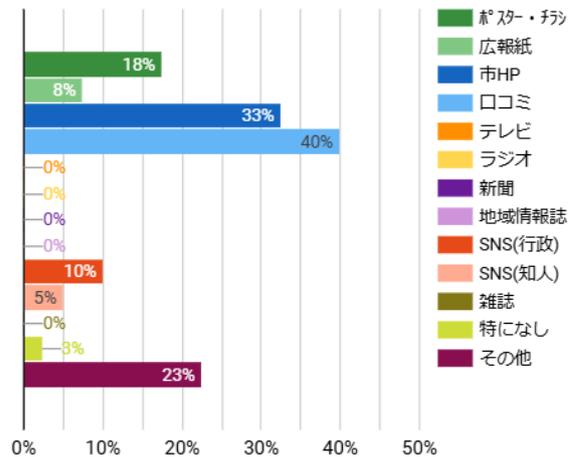
情報源別回答割合



居住区別・情報源別回答割合（市内）

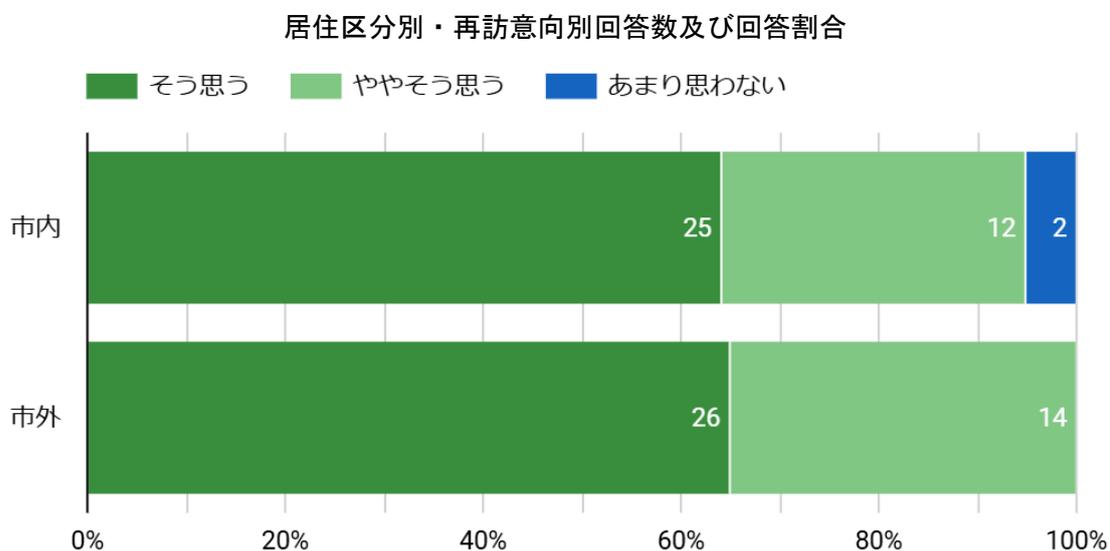
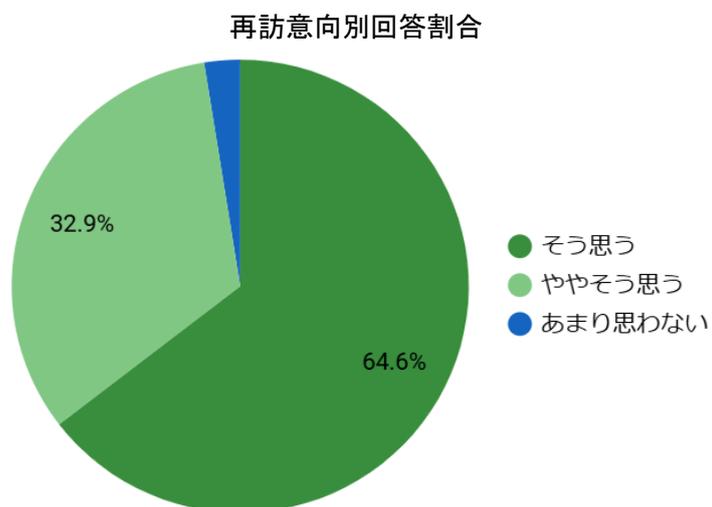


居住区別・情報源別回答割合（市外）



③ 田沼マラソンに再び参加したいと思うか

- 「そう思う」が約65%、「ややそう思う」が約33%で、極めて高い再訪意向が認められた。



④ 田沼マラソンで特に良かったこと

自由記述意見をアフターコーディング手法により分類し、次の要素を抽出した。

「選べる参加賞」が好評を博していたほか、「ローカル感」、「小規模」といった点を肯定的に捉える意見が多く見られた。大規模な大会や競技色の強い大会では得られない、地域密着の温かい雰囲気や、家族など世代間で交流しながらマラソンを楽しむことができる点が、田沼マラソンの魅力であると示唆される。

➤ 参加特典（19件）

・・・参加賞の引き換え券が良かった、選べる参加賞

➤ 世代を超えた交流、温かい雰囲気（18件）

・・・家族みんなで走れてよかった、地域での実施で雰囲気が良かった
小さい子から年配の方まで、本当のファンランだった

➤ コース選定、距離設定が適切（13件）

・・・商店街の道などロードコースをしっかりと走れた、距離がちょうど良い

➤ 参加しやすさ（8件）

・・・小規模で参加が手軽、参加料が安くて、楽しく参加しやすい大会

➤ 地域の応援（6件）

・・・地元の方々の沿道応援が励みになりました！

➤ 地域密着の運営（6件）

・・・牧之原市一体で頑張っている感じが素晴らしい
市の人達の手作り感があって暖かな感じがします

⑤ 田沼マラソンで不便・残念だったこと

雨については天候そのものに加え、待機場所がないことへの不満が見られた。そのほか、駐車場の距離と更衣室の混雑が主な意見となった。特に更衣室は、次回開催時も史料館を使用できないようであれば、対応検討が望ましいと思われる。

➤ 雨（18件）

・・・雨で待機場所がなくて困った、雨天は順延してほしい

➤ 更衣室（9件）

・・・更衣室が混んでいた、団体・個人で利用できる場所を分けて欲しい

➤ 駐車場（8件）

・・・駐車場が遠い、舗装されていると有難い

【ワードクラウド図】 ※青字・・・名詞、赤字・・・動詞、緑字・・・形容詞



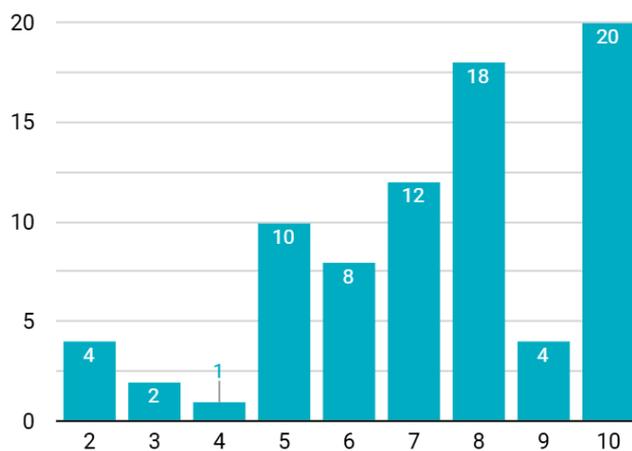
出典：ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析

(<https://textmining.userlocal.jp/>)

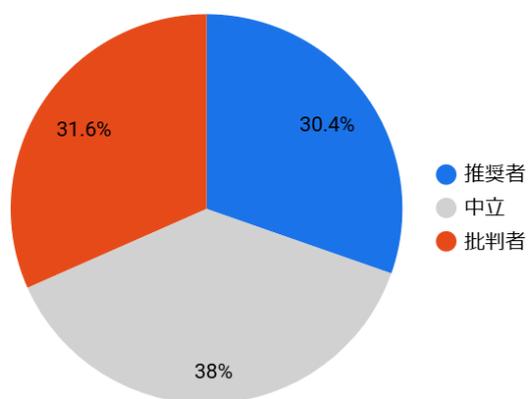
⑥ 田沼マラソンの親しい知人への推奨度

- 推奨者（9～10点）の割合から批判者（0～6点）の割合を差し引いたNPS（Net Promoter Score）は-1.3となった。
- 推奨度の区分では、7点又は8点と回答した「中立」が約38%と最多であった。

推奨度別回答数（NPS：-1.3）



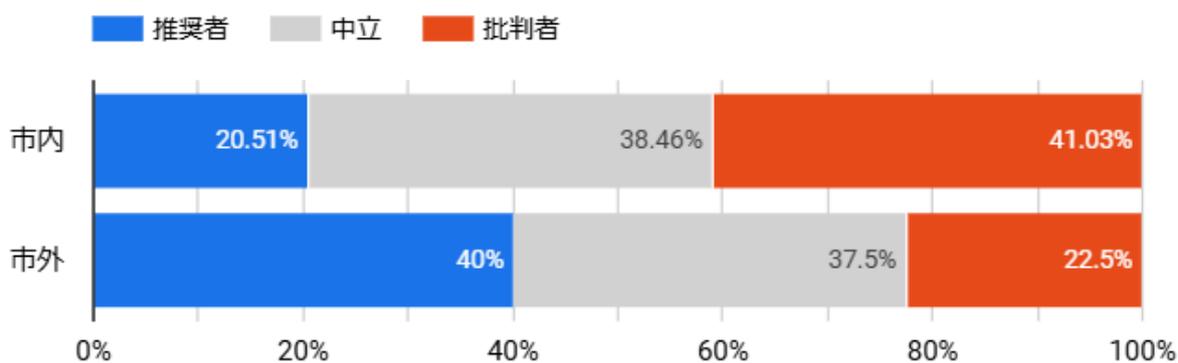
推奨度区分別回答割合



- 居住区分別に比較した場合、市内居住者は推奨度が低く、市外居住者は推奨度が高いという傾向が見られた。
- 中立者は市内、市外ともに約 38%存在したが、推奨者と批判者の構成比率の差異により NPS には大きく差がついた。
- 市内、市外で差がついた要因等は、本アンケートでは件数の不足もあり特定には至らなかった。今後、継続した調査や、点数を付けた理由を尋ねるなどにより、情報の蓄積を行い分析を進めることが期待される。

居住区分別NPS及び推奨度区分構成比

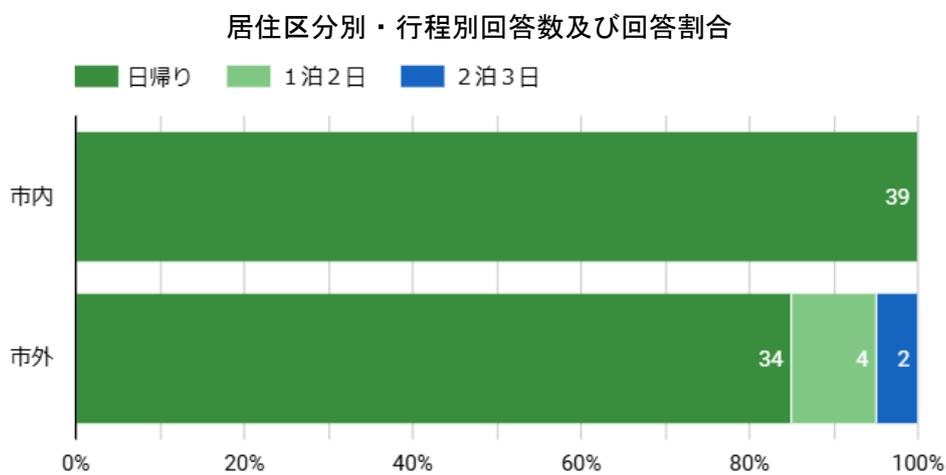
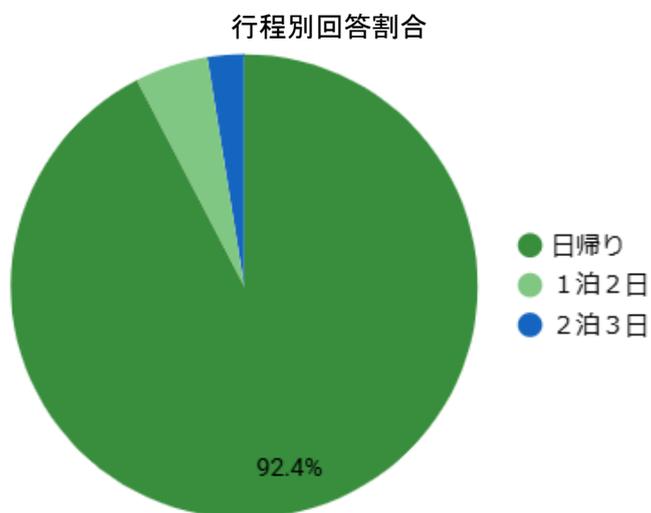
居住区分	回答数 ▲	NPS
1. 市内	39	-20.5
2. 市外	40	17.5
総計	79	-1.3



(3) 今回のお出かけ全体に関すること

① 行程

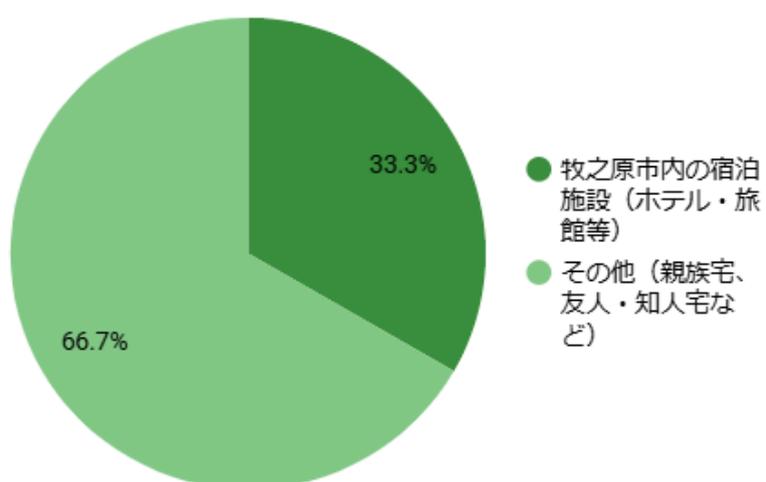
- 「日帰り」の割合が約92%と、大多数が日帰りでの来訪者であった。



② 宿泊先（前問で“宿泊”と回答した方のみ）

- 宿泊を伴う来訪者6名のうち、「牧之原市内”の宿泊施設（ホテル、旅館等）」を利用したのは2名（33%）であった。

宿泊施設別回答割合

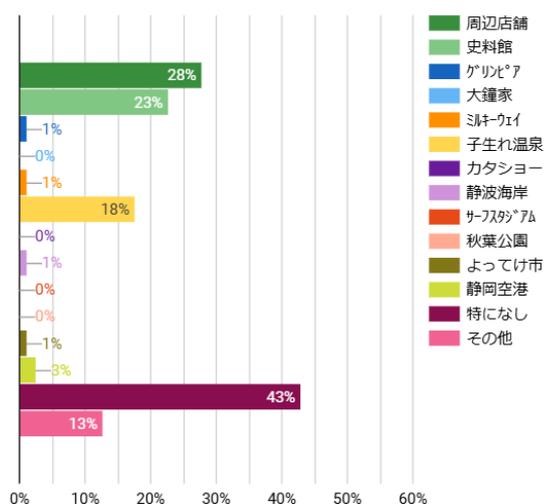


※「宿泊」の方のみに質問 n=6

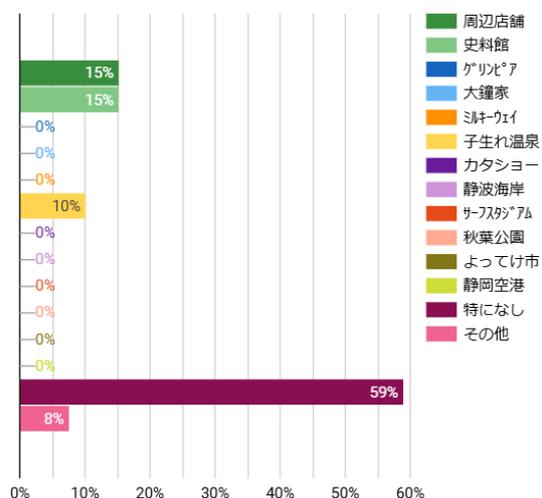
③ 利用施設 (複数回答可)

- 「会場周辺の飲食店や土産店」が約28%と最も高く、次いで、会場に隣接する「牧之原市史料館」が約23%、運動後の入浴需要から「子生れ温泉」が約18%となった。なお、「利用していない(する予定はない)」は43%となった。
- 施設利用者は多くが市外の方であり、市内在住者の利用はあまり見られなかった。

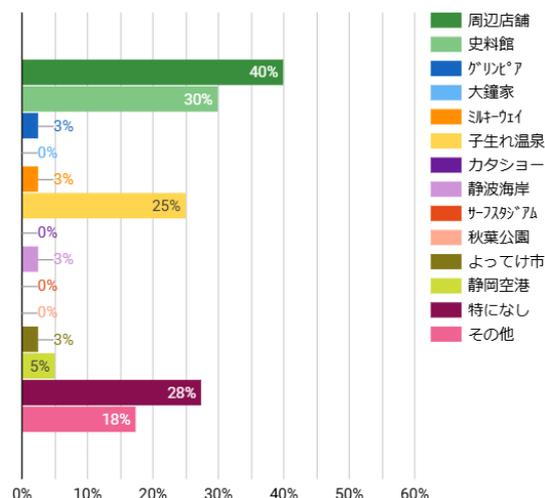
利用施設別回答割合



居住区分別・利用施設別回答割合 (市内)

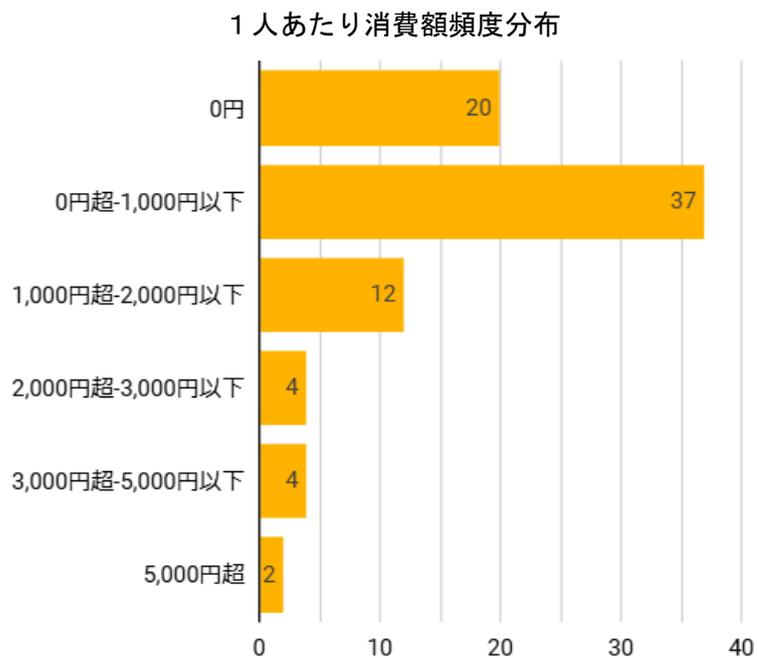


居住区分別・利用施設別回答割合 (市外)



④ 会場内の1人あたり消費額

- 1人あたり平均消費額は、1,595円となった。
- 消費額の分布は、0円超1,000円以下が多く、中央値は667円であった。5,000円を超える消費は2件であり、それぞれ15,000円、40,000円であった。

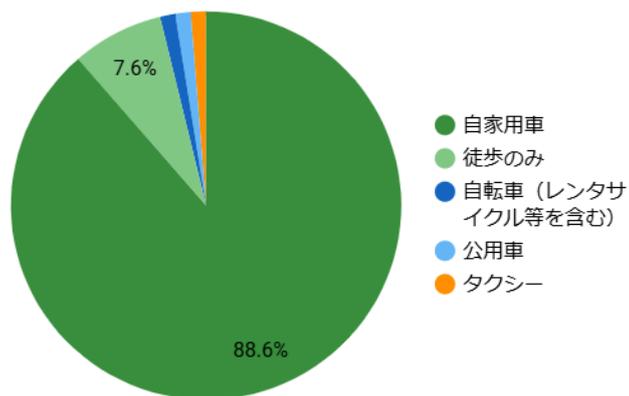


※本調査では、消費額が過大となる問題を回避するため、「消費した合計額」と「当該金額が何人分か」に分けて質問し、1人あたりの消費額を算出している。分析にあたり、「消費した合計額>0円」かつ「当該金額が何人分か=0人」の回答については、金額を0円に補正した。

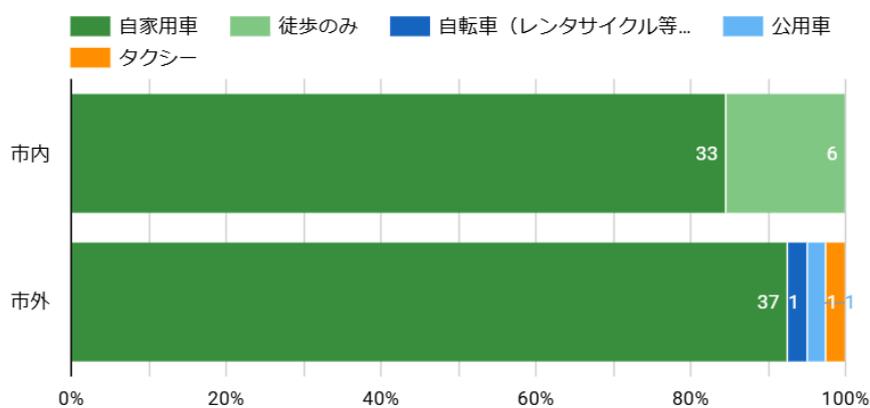
⑤ 会場に辿り着くために使用した主な交通手段（複数回答可）

- 約 89%と大多数が「自家用車」で来場しており、市内では一部に「徒歩」での来場も見られた。
- 市内、市外ともに、「自家用車」主な交通手段である傾向に差は無かった。

交通手段別回答割合



居住区分別・交通手段別回答数及び回答割合

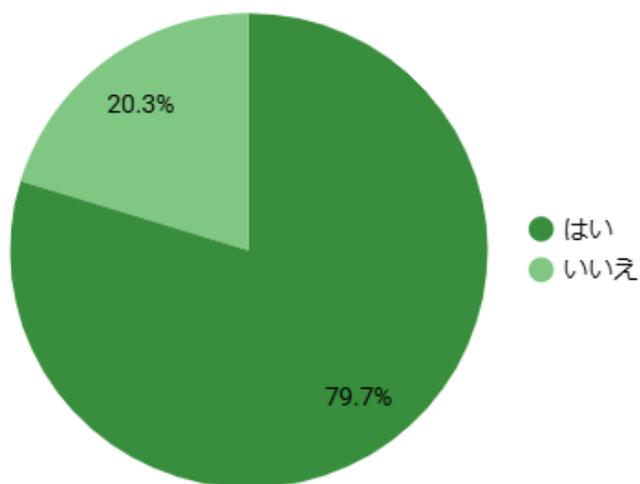


(4) 大河ドラマ展・田沼意次候について

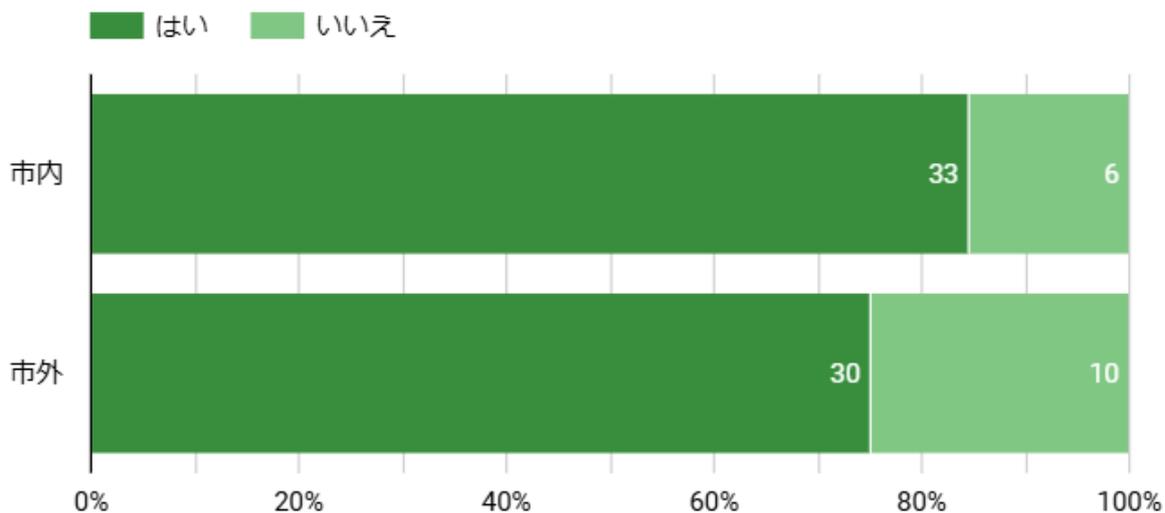
① 大河ドラマ展が開催していることを知っているか

- 約80%が大河ドラマ展開催を認知しており、マラソン参加層については認知が進んでいることが認められた。
- 市外においても市内と同程度の認知が得られていた。

ドラマ展開催認知別回答割合



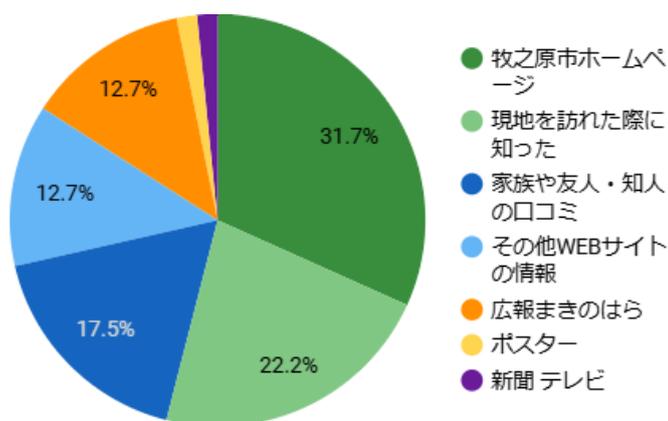
居住区分別・ドラマ展開催認知別回答数及び回答割合



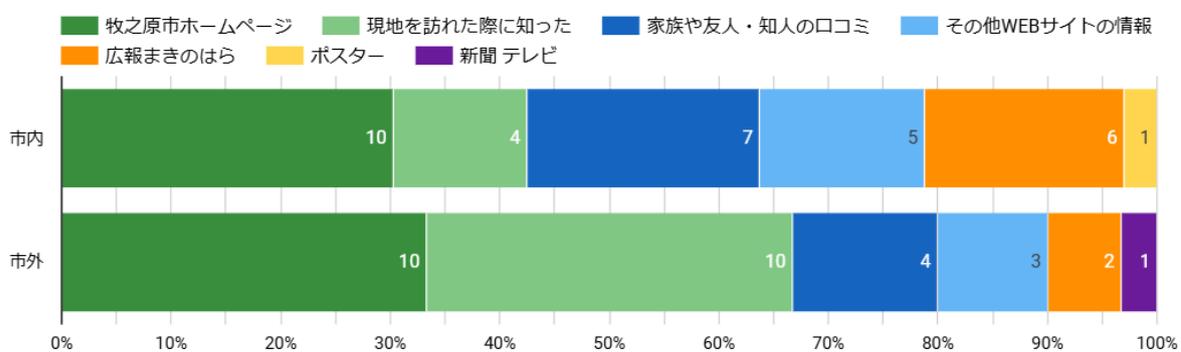
② 大河ドラマ展の開催を何で知ったか

- 「牧之原市ホームページ」が約32%で最も多く、次いで「現地を訪れた際に知った」が約22%であった。
- 特に市外は「現地を訪れた際に知った」の割合が高い傾向にあるが、一方で市内においても「現地を訪れた際に知った」の回答が見られ、周知の余地があることが伺える。

ドラマ展認知理由別回答割合



居住区分別・ドラマ展認知理由別回答数及び回答割合

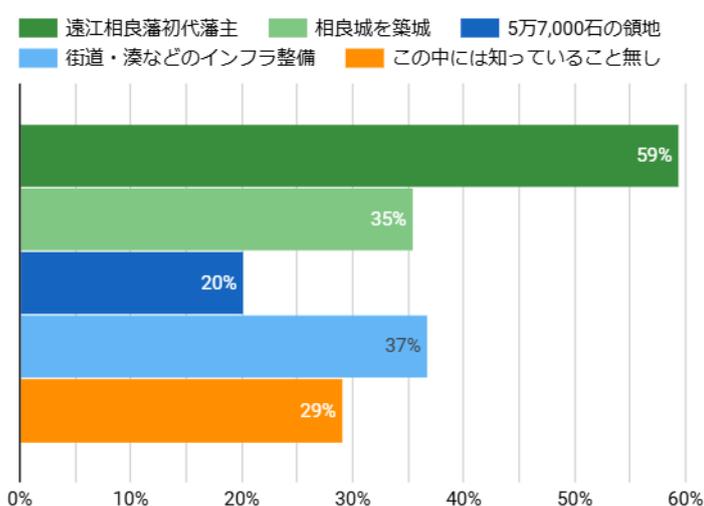


※「ドラマ展開催を知っている」の方のみに質問 n=63

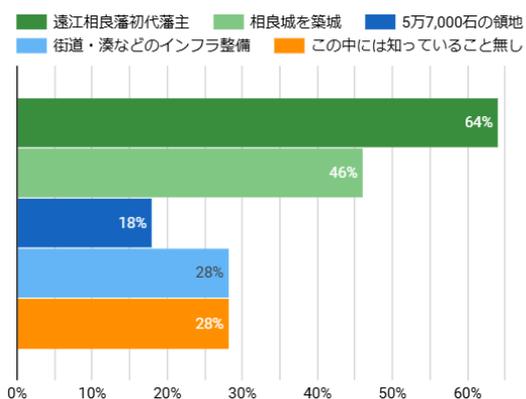
③ 田沼意次候の功績について知っていること（複数回答可）

- 「この中に知っていることは無い」が約29%と、一定の認知を得られていることが伺える。
- 「遠江相良藩の田沼家初代藩主を務めた」が約59%で最多となった。
- **市内**は「相良城を築城した」、**市外**は「田沼街道や相良湊などのインフラ整備を推進した」が高い傾向と差が見られたが、市内外で全体的な認知の程度に大きな差異は見られなかった。

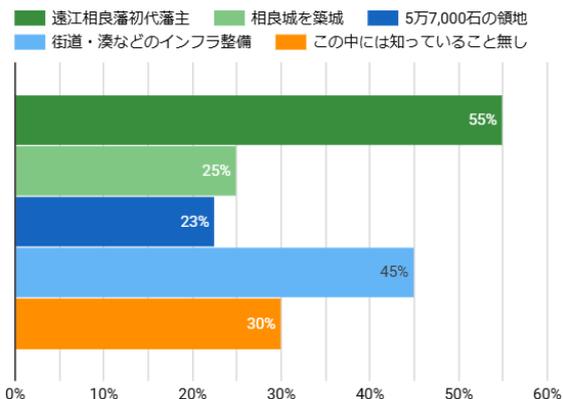
認識別回答割合



居住区分別・認識源別回答割合（市内）



居住区分別・認識源別回答割合（市外）



3. 総括

約 51%が市外からと、地域住民以外の参加も多く見られ、地域密着の温かい雰囲気の中、参加者で交流を深めながら楽しめるマラソン大会であることが評価されており、再び参加したい意向は約 98%と高水準であった。

一方で、10 点満点で計測した推奨度は、批判者に分類される回答（0 点～6 点）が一定程度見られた。当日の天候や、史料館でドラマ展を開催していることで更衣室が変更となった点など外的要因も影響していると思われるが、回答から示唆される以下の点に対する取組みにより満足度を底上げしていくことが期待される。実施にあたってはトレードオフの検討も必要となるが、可能なものから対応を検討いただきたい。

（会場における周知の見直し）

- 「参加賞が引換券であるとわからなかった」、「ゴール前に残り距離の告知が欲しかった」などの意見に見られるように、今一度参加者の目線に立ち、必要な情報が提供されているか見直すことが望ましいと思われる。

（駐車場）

距離が遠いことが不便な点として多く挙げられていた。代替地を探すことは困難と思われるため、自家用車から交通手段を分散させる取組みなどが期待される。

（イベントの魅力創出）

- 「音楽による応援」、「ロケ地など牧之原の魅力を伝えるコース設定」など、マラソンに付随したイベントとしての魅力創出を求める声が見られた。市外からの参加も多く見られ、また市外からの参加者は NPS が高い傾向にあるため、マラソンを契機に牧之原市を PR する取組みなどを関連施策として検討されたい。

第 68 回 田沼意次牧之原市マラソン大会
来場者アンケート調査
報告書

2025（令和7）年3月

公益財団法人するが企画観光局
（地域連携DMO）

〒420-0837 静岡市葵区日出町1-2 TOKAI 日出町ビル9階

T E L 054-204-6677（調査戦略担当）

F A X 054-205-3639

M A I L info@suruga-mtb.or.jp